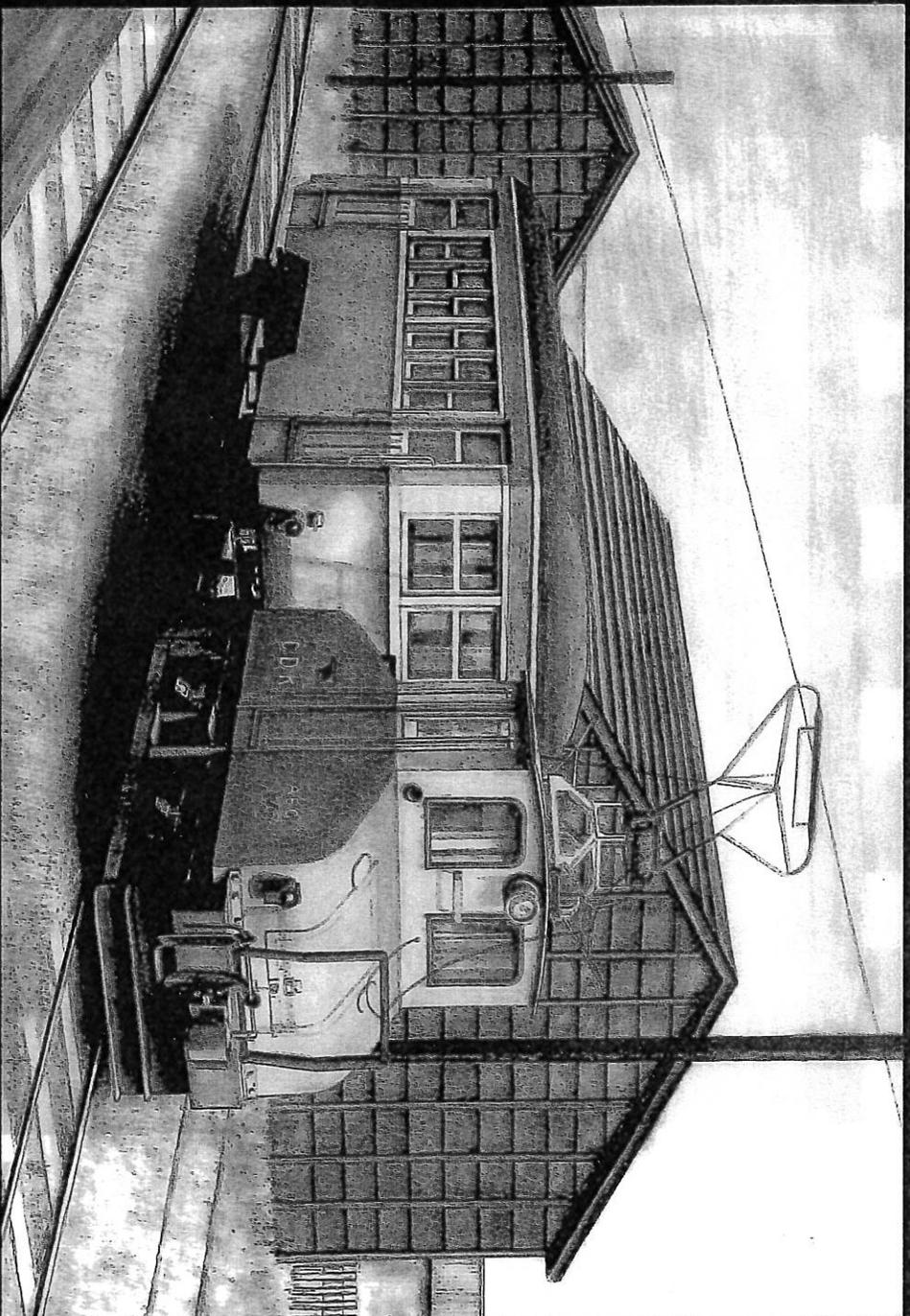


開業90周年記念 1923～2013



銚子

仲ノ町

観音

本銚子

笠上黒生

西海鹿島

海鹿島

君ヶ浜

大吠

外川



銚子電気鉄道

お客様各位

ごさいの感謝を込めて

銚子電鉄の動力は電気ではございません

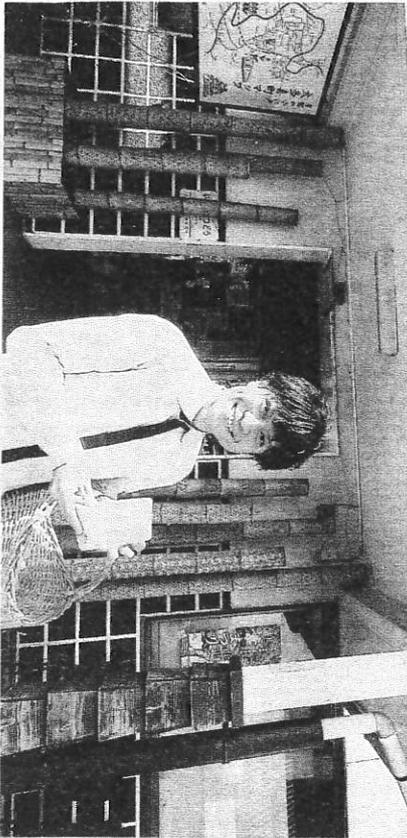
みなさまの応援を動力に運行しております

ごさいの応援をお願いします

銚子電気鉄道株式会社

「ハーブ男子」お出迎え

デジタルサポート
大多喜駅
 Dental Support OTAKI STATION

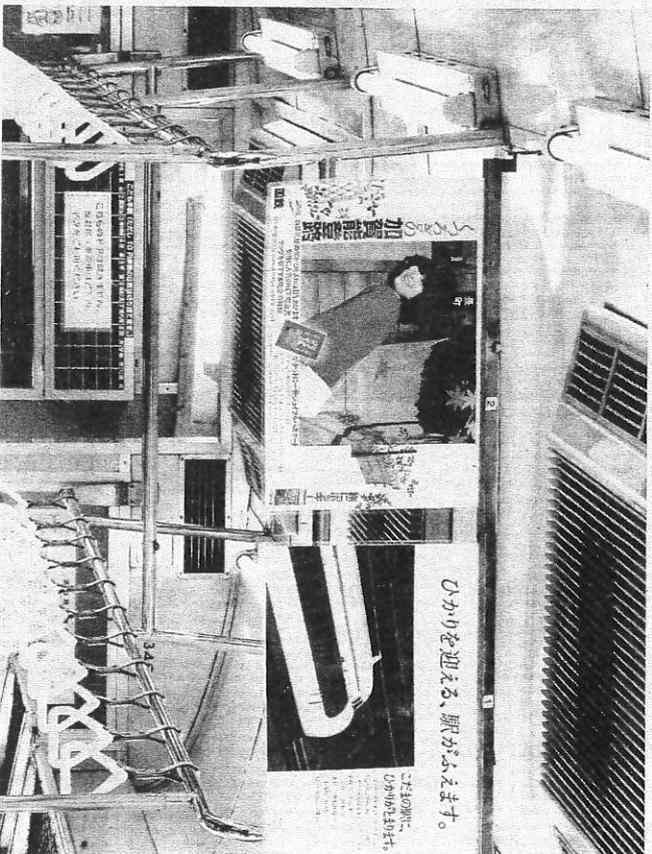


ハーブ男子として地域の魅力を発信する小幡部長

デジタルサポート大多喜駅「ハーブ男子」お出迎え。今年8月には、新たな地元イベント企画に参画。LFDを使ったイベント打ち上げたが、「この列車行も『まちおこし』のきっかけになると思います。ハーブ男子をアピールに協力させていただきます。共に地域を盛り上げていきたい。と地元愛、ハーブ愛あふれる画面の笑顔を見せた。

デジタルサポート大多喜駅。乗客を迎え、ハーブ男子を配って、沿線の大多喜ハーブ男子に出会った。沿線の大多喜ハーブ男子に勤める小幡恭徳がデジタルサポート部長で、「通称、ハーブ男子です」と自己紹介された。「履歴書を持ち、『働かせてほしい』と訪ねたら、『そのハーブ、明日から分らんぞ』と一言、本当に翌日、働きに行きたいです」そのままだけ9年。これまで培った経験、知識をもとに今は「ハーブ男子作り」に努めている。「ハーブ男子界は奥深く、知っている方は知識も深いですが、知らない人は全く興味もないですね。だから、間口を広げたい」と園内のガイド役を担う。

車内は、当時の汽車旅を彷彿とさせる車内ついで演出

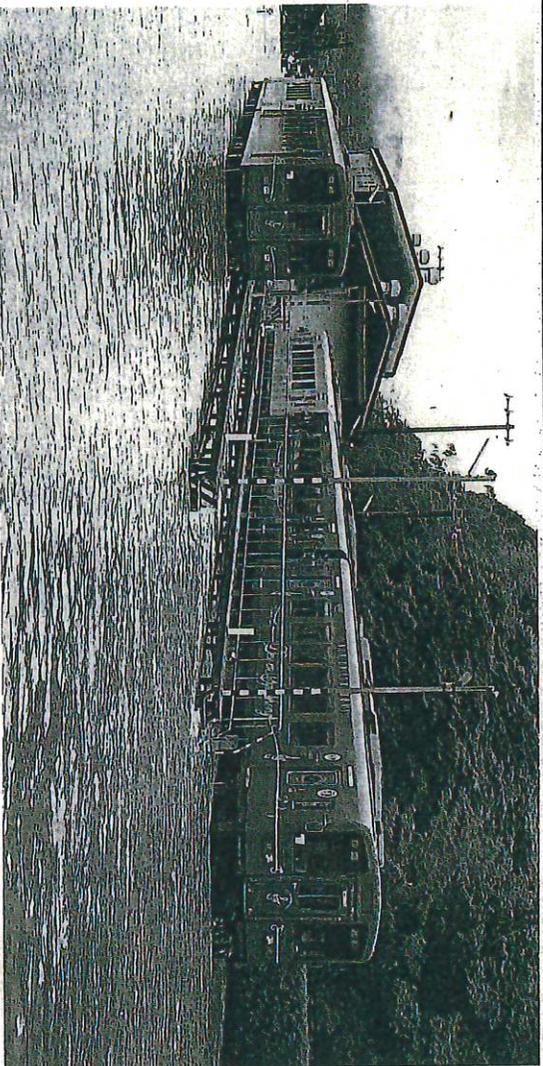


キハ28形「最後の1両」を用意

今回、いすみ鉄道が観光列車として用意したのはキハ28形。約1800両造られた中の最後の1両（1964年製）で、海水浴臨時列車として千葉の内房・外房線を引き抜いてきた。JR西日本に移管され、2011年まで富山の高山線で運用。廃車を免れた車両で、車内では「雪深い北国から温暖な房総半島へ。現在、観光列車として活躍している。どうぞ、国鉄時代、昭和の汽車旅をお楽しみください」とアナウンスされていた。

木下から続く

途中駅では、おこしと演出も、沿線の旅館を盛り込み、いすみ鉄道を模したバツケイジのポスターを販売。車掌さんが乗客の記念シートを持ち歩き、記念撮影を促す。男性、日旅では「里山風景の残り1時間なので、泊りがけで出掛ける時間はないけれど、旅行気分を味わいたいのと、夫人女子のために作られたものを食べたのと同じように、いすみの食事はかきまじった。この列車に乗れば、ゆったりの時間の中で食卓風景を味わった。



くま川鉄道に支援の輪

熊本の子セク 橋流失や車両浸水

「高校生の足守る」社長奮起

豪雨で被災したくま川鉄道の車両(左、熊本県人吉市) 同社提供

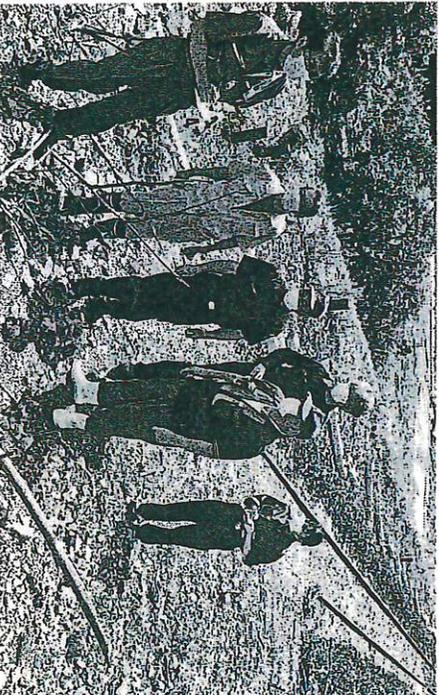
熊本県を走る第三セク化財の球磨川第四橋梁が流失し、在籍するライゼル車両5両全てが浸水。くま川鉄道が豪雨による橋の流失や車両の浸水などの被害を受け、9年度決算は本業の損益回復のめどは立っていない。かつて国鉄路線を8万円の赤字で、同社は引き継いで1989年に修復には「国や県の支援が必要だ」と訴える。

経営が続く。財政の余裕はないが寄付を呼び掛ける三セク、いすみ鉄道への支援の動きが広がりを、永江友二社長(56)広援団「は言駅(いすみ)高校生の足を守る使命がある」と奮起する。募金箱を設置し、被害をくま川鉄道は1人告伝える写真も展示した。駅に隣接する人吉温泉駅掛須保之団長(58)は「口(人吉市)と湯前駅(湯一カル鉄道を救うために前町)の24.8キロを結び、日本全国で声を上げる。利用者の約8割を高校生が占める。1R九州の襲撃襲撃列車「ななつ星1九州」を手掛けた水戸丸を川崎造船がデザインした車両を用いた観光列車「田園シニア2」を走らせ、球磨川沿いの風をえた鉄道や、くま川鉄道への支援の動きを「復興に向けた糧にしたい」と議論する。

「鉄道は地域の財産」

熊本 田村・まじま氏被災地調査

(20.7.23)



土砂崩れにより不通となった、おれんじ鉄道(左から)田村、まじま、山本、橋本、坂本、平岡の各氏(22日、熊本県人吉市北町)

敷に対応している。紹介。「路線の再開は、鉄道会社のためだけになく地域のためでもあります」と話しました。おれんじ鉄道では、出田貴康社長と懇談しました。

田村氏は「鉄道は地域の財産。復旧には国果たず役割が重要です。国土交通省に現状を伝え、一日も早い復旧に努める超えて全力を尽くします」と答えました。

調査には、松岡勝寛熊本県委員長、山本伸裕熊本県議、橋本徳一、八代市議、本村幸斗、人吉市議、平岡朱水候市議、坂本登。芦北町議らが同行しました。

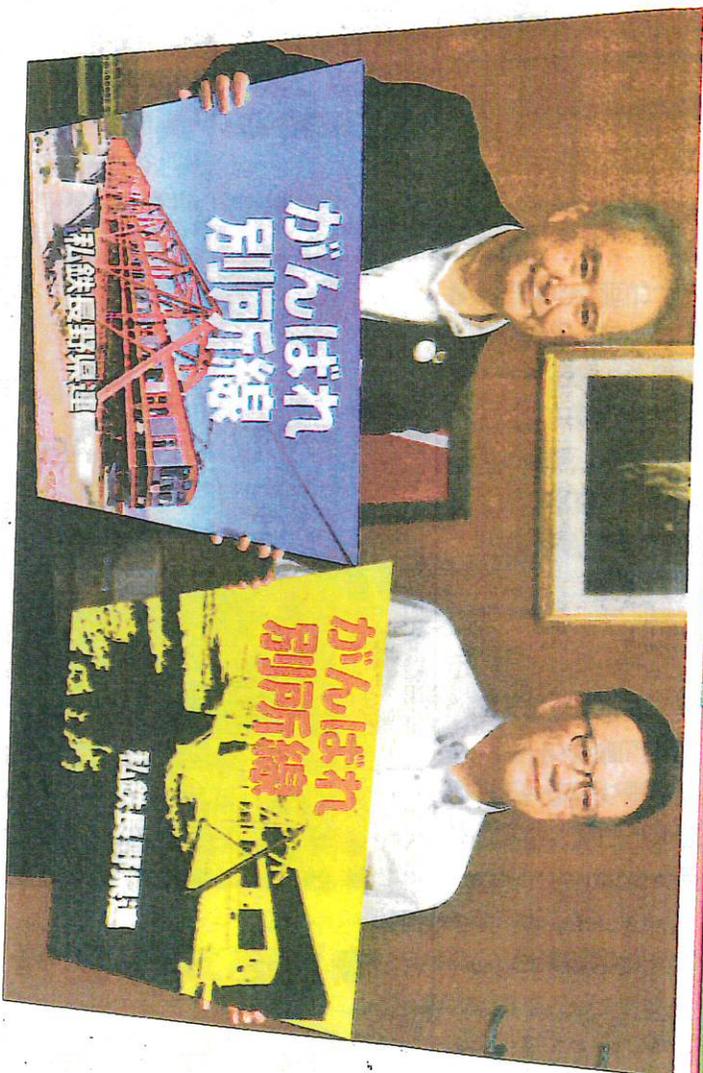
一連の豪雨で甚大な被害が発生し、不通が続く熊本県の「肥薩おれんじ鉄道」とくま川鉄道」の現状を調査しようとして22日、日本共産党の田村貴昭衆院議員、まじま登三前衆院議員が同県芦北町と同県人吉市の被災現場を調査し、鉄道側から要望を聞き取りました。

おれんじ鉄道は、大規模土砂崩れなど4カ所以上で被災し約400人の高校生らに影響。くま川鉄道では、球磨川の氾濫による橋梁(きょうりょう)の発生しました。利用者くま川鉄道の永江友二社長は、高校生の50人にバズ振替輸送などの影響が最小限にと高校などの影響が出ています。側と連絡を取り合い乗

私鉄県連が贈る

がんばれ別所線

近ツリ「印帳」発売



〈上ツリ〉を受け取った山本社長(左)と坂巻副社長

県内私鉄8社の労働組合等

く県私鉄労組連合会(私鉄県

連、長野市)は10日、上田電鉄

(上田市)を訪れ、列車正面に

付けるへっぴんぐ2枚を贈っ

た。昨年の台風19号で被災した

同社別所線の赤い鉄橋「千曲川

橋梁」の復興を応援しようと

「がんばれ別所線」のメット

ジを記した。

へっぴんぐには、同橋梁を

走る000系「ぞがたり」

む写りの写真を印刷。上田市の

写真家岡田光司さんが提供し

2枚目は同じ写真を裏に黄色に

加工した。上田電鉄はこの日

後、へっぴんぐをさまざまな

1号に早速取り付けた。

私鉄県連副会長の坂巻さんと

(右)は、目に見えない形で応援メ

ッツアーを表したかったとい

い、「一日も早い復興は組合員

約300人の願い」とあいさ

つ。上田電鉄の山本修社長(右)

は来着の全線開通に向け、多く

の支援をもらっているとし「社

員一同、安全第1で皆さんの思

いに応えたい」と感謝した。

乗車し温泉 沿線の旅へ 「観光を元気に」

上田市の上田電鉄別所線に
乗って「御乗車印」、別所

発委会(上田商工会議所主

ビズを紹介する「合コンレ

市内の事業所が新商品・サト

10日、上田市内で開かれた

帳が登場した。

ならぬ、御乗車印帳兼御湯印

と、神社公園などの御朱印帳

所線と別所温泉を応援しよう

イルスの影響を受けている別

年の台風19号や新型コロナウイルス

兼御湯印帳」に貼ろう。昨

れぞれの「御乗車印帳

温泉で「御湯印」の紙札をそ

「御乗車印帳兼御湯印
帳(下段)と御湯印
帳(上段の3枚)など



(僅)で、近畿日本ツリスト
関東上田営業所が発表した。

を貼り付け、旅の思い出に

ん(26)は「御乗車印、御湯印

販売。同営業所の大橋泰樹さ

り、今後は別所温泉の旅館も

の市観光会館売店で扱って

別所線の有人駅、同市大手

る。

じめ、市全体の観光が元気に

くる。別所線や別所温泉をは

付きのパンフレットも付いて

温泉の店舗で使えるツリボシ

り放題の切符の引換券、同

み4千円。別所線に1日乗

表紙別に4種類用意し、税込

時に不すと紙札がもらえる。

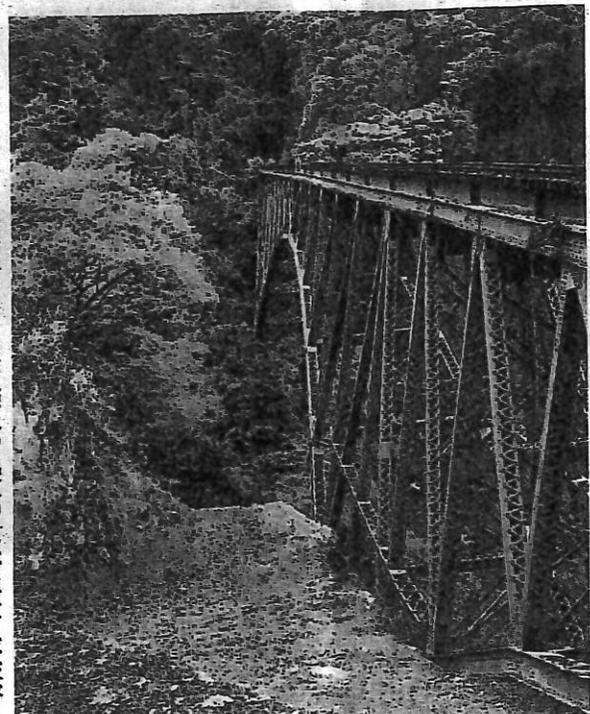
面あり、乗車時、外湯入湯

復興願うへっぴんぐ

鉄道・運輸機構 被災鉄道路線の支援事業

鉄道建設・運輸施設整備支援機構は、地震などの災害による被害を受けた鉄道路線の復旧を支援している。2016年の熊本地震で被災した南阿蘇鉄道についても、第一白川橋りょう（立野―長陽間）の架け替えについて、必要な部材強度や性能が確保された設計となっているか、現地条件に適した設計かどうかを確認する照査業務などを行っている。

第一白川架け替え照査業務など



架け替えられる第一白川橋りょう
＝立野―長陽間＝

南阿蘇鉄道の復旧支援

同地震で被災した南阿蘇鉄道は、同年7月に中松―高森間（7.2km）で運転を再開。残る立野―長陽間ではトンネルや渓谷に架かる橋りょうの移動・変形、斜面崩壊による第一白川橋りょう

の時間を要する（前川聡幸常務）との見方を示し、被害総額は「現時点で未定」としています。同社によると、特に被害を受けたのは、久大線のほか、熊本県八代市と鹿児島県霧島市を結ぶ肥薩線。2路線で計三つの橋梁が流失し、線路への土砂流入なども多数発生しました。

は、基礎部の移動や上部工（鋼製）部材の変形、破断などが見られることから架け替えが決まり、これに伴う設計が必要となった。同機構では18年度から現地調査や打ち合わせ、図面確認などを行い、昨年末に照査業務を終了。現在、現地では架け替えに向け、既存橋りょうの撤去に向けた準備工事が始まっている。架け替えに当たっては、工場で架け替え用の新しい橋りょうを製作して現地で架設する計画で、同機構では開までの復旧工事を受託。仙台空港鉄道には技術者を派遣し、工事の施工管理など、早期復旧に向けた技術支援を行った。

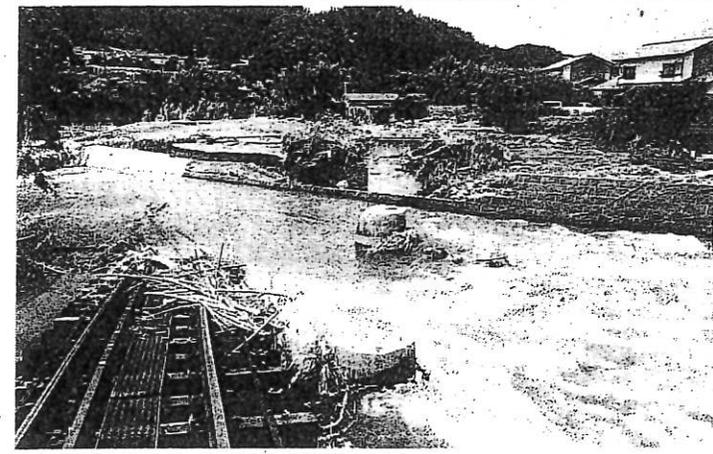
九州2路線 復旧困難

JR 豪雨で橋梁流失

（20.7.15）

JR九州は13日、豪雨による鉄道の被災状況について、福岡県久留米市と大分市を結ぶ久大線など2路線の一部区間で復旧の見通しが立っていないと発表

しました。橋梁（きょうりょう）の流失や土砂の流入などが発生し、「復旧にはかなり



豪雨で流失した久大線の豊後中村―野矢間にある橋梁（きょうりょう）
＝大分県九重町（JR九州提供）

久大線の日田―向之原、肥薩線の八代―真幸の間で復旧の見通しが立っていません。今回の豪雨による被災件数は12日時点で、17路線345件に達します。雨が降り続いた3日からの8日間を計20路線4550本が運休止し、約19万人に影響が出たといわれます。

(17日、20日)
(18日、19日)



平岡駅から飯田方面に向かうJR飯田線の普通列車。静岡方面は不通になっている。14日午後4時42分、天龍村

平岡一水窪間
不通で見通し

JR飯田線の平岡一水窪間海地方からの観光客にも打撃だ。
なつたことは、地元の下伊豆松市の水窪駅から飯田線まで料社会労ゼンターに通っていた30代の女性事務員は種

天龍村民生活や観光

飯田線全線再開に

九州を襲った豪雨では、鉄道も甚大な被害を受け、一部区間で運転見合わせが続いている。JR九州と第三セクターを合わせて12箇所、在の不運区間は、路線約310キロに及んだ。このうちJR九州は約230キロが不通となり、同社では九州新幹線と在来線の全路線のうち1割が鉄道橋の流失や線路への土砂流入などで運転できなくなっている。

JR九州は13日、計34箇所、肥薩線は球磨川にかかった九州新幹線も含めて計17箇所、被災路線は、駅舎が浸水し、被災路線は、駅舎が浸水した九州新幹線も含めて計17箇所となった。同社による65件の被害を受け、八代(熊本県八代市)と、3、10日の8日間、計20路線で4550本が運送びの市)が不通と、計34箇所、久大線でも橋の流失など145件の被害で、大分県内の臼田一帯で運行を止められている。鹿児島県は、人吉温泉一帯の全線が不通。肥薩おれんじ鉄道(八代市)は土砂流入で八代本、鹿児島県内の川内一帯

毎日新聞
(20、7、14)

九州鉄道不通6路線



豪雨で不通となった区間